

名前： \_\_\_\_\_ 日付： \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

/ 100点 目安： 15分

## 学習のポイント

- 割合や%の問題では、元の数×割合 = 変化後の数の関係を式で表そう
- 年齢の問題では、現在と未来（過去）の各人の年齢の関係をしっかり整理しよう
- 過不足の問題では、『すべてAだったら』と『すべてBだったら』の2つの場合を考えると立式しやすい

## 1 割合・%の問題

14～15点

- 1 ある商品の定価が2000円で、10%割引されるとき、割引後の価格は何円か。 15点
- 2 原価が500円の商品に30%の利益を見込んで販売するとき、売価は何円か。 15点
- 3 ある数の20%が60である。もとの数はいくらか。 14点

## 3 過不足の問題

各14点

- 4 お金を子ども一人に360円ずつ配ると120円足りず、280円ずつ配ると520円余る。子どもの人数は何人か。 14点
- 5 何人かの生徒にえんぴつを配る。1人に6本ずつ配ると3本足りず、1人に5本ずつ配ると4本余る。生徒の人数は何人か。 14点

## 4 総合選択問題

各14点

- 6 現在、父は40歳、子は10歳である。父の年齢が子の年齢の3倍になるのは何年後か。 14点
- ア. 3年後    イ. 5年後    ウ. 8年後    エ. 10年後
- 7 ある数に3を加えて5倍にした結果が、その数に10を加えて3倍にした結果と等しい。その数はいくらか。 14点
- ア. 5    イ. 7.5    ウ. 10    エ. 12.5